(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒285-0837

住 所 千葉県佐倉市王子台1-21-2

氏 名 株式会社村上建設 代表取締役 村上 亮

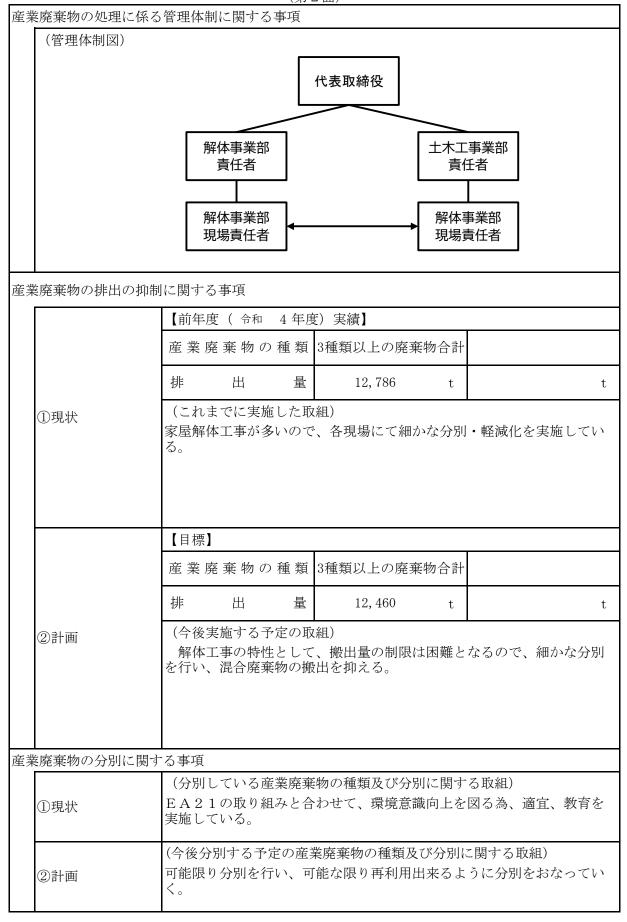
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-461-8811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その 処理に関する計画を作成したので、提出します。

	事業場	の名	1 称		株式会社村上建設					
	事業場	の所で	生 地		千葉県佐倉市王子台1-21-2					
	計 画	期	間		2023年4月1日 ~ 2024年3月31日					
当該	亥事業場に	おいて	現に	行っ	ている事業に関する事項					
	① 事	業の	種	類	大分類:建築業 中分類:総合工事業					
	② 事 ;	業の	規	模	工事完成高10億円(2021年度)					
	③ 従	業	員	数	35名(2023年3月現在)					
	④ 産 業一連の	を 廃 乗の処理								

(日本工業規格 A列4番)



自ら行う産業廃棄物の	の再生利用に関する事項	
	【前年度 (令和 4 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類_コンクリート塊	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 4,856 t	t
①現状	(これまでに実施した取組) コンクリートの塊を破砕し、再生砕石と再利用を行った。	
	【目標】	
	産業廃棄物の種類 コンクリート塊	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 4,800 t	t
②計画	(今後実施する予定の取組) 引き続き再生砕石を作成し、再利用を行っていく。	
自ら行う産業廃棄物の	の中間処理に関する事項	
	【前年度 (令和 4 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類 木 く ず	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 0 t	t
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 1,518 t	t
	(これまでに実施した取組)	
	【目標】	
	産業廃棄物の種類 木 く ず	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 0 t	t
②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量 1,500 t	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
		【前年度(令和 4 年度)実績】								
		産業廃棄物の種類 3種類以上の廃棄物合計								
	Control 16	自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行った t t 産 業 廃 棄 物 の 量								
	①現状	(これまでに実施した取組)								
		【目標】								
		産業廃棄物の種類 3種類以上の廃棄物合計								
		自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行う t t 産 業 廃 棄 物 の 量								
	②計画	(今後実施する予定の取組)								
産業	L É廃棄物の処理の委託	に関する事項								
	<u> </u>	【前年度 (令和 4 年度) 実績】								
		産業廃棄物の種類 3種類以上の廃棄物合計								
		全 処 理 委 託 量 6,412 t t								
		優良認定処理業者への 481 t 処理 委託 量 t								
		再生利用業者への 処 理 委 託 量 5,931 t t								
	①現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量 0 t								
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 0 t 処 理 委 託 量								
		(これまでに実施した取組) 細かな分別・軽減化を行い、再生利用を行う処理委託業者へ搬出を行い 再資源化となるように努める。								

(第5面)

	【目標】	
	産業廃棄物の種類_3種類以上の廃棄物合計	
	全 処 理 委 託 量 6,160 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量 460 t	t
	再生利用業者への 処理委託量 5,700 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量 t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き再利用が可能な処理業者へ委託を目指す。	
※事務処理欄	3種類以上の廃棄物合計	

備者

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業盛棄物の	の排出の抑制に関する	事項								\neg
	【前年度(令和 4	年度)実績】)								
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物		
	排出量	9, 387 t	275 t	234 t	84 t	2,600 t	74 t	132 t	12, 786	t
	【目標】			•						
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物		
	排出量	9,200 t	260 t	220 t	80 t	2,500 t	70 t	130 t	12, 460	t
自ら行う産業	業廃棄物の再生利用に									
	【前年度(令和 4	年度) 実績】)		1	T	Ī	Ī			
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	4,856 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	4, 856	t
	【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	4,800 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	4, 800	t
自ら行う産業	業廃棄物の中間処理に	関する事項			•					
	【前年度(令和 4	年度) 実績】)			_					
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物		
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	1,518 t	0 t	0 t	1, 518	t
	【目標】									
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物		
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	1,500 t	0 t	0 t	1,500	t

自ら行う産業	業廃棄物の埋立処分又	は海洋投入処分に							
		年度) 実績】)							
OTH 11	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	【目標】	I		I	T		I	T	
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
産業廃棄物の	の処理の委託に関する								
	【前年度(令和 4	年度) 実績】)		Γ	T	Т	T	1	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	全処理委託量	4,531 t	275 t	234 t	84 t	1,082 t	74 t	132 t	6, 412
(D.1H.11)	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	275 t	0 t	0 t	0 t	74 t	132 t	481
①現状	再生利用業者への 処理委託量	4,531 t	0 t	234 t	84 t	1,082 t	0 t	0 t	5, 931
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	【目標】			Ī	1	T	Ī	•	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
	全処理委託量	4, 400 t	260 t	220 t	80 t	1,000 t	70 t	130 t	6, 160
@#J ==	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	260 t	0 t	0 t	0 t	70 t	130 t	460
②計画	再生利用業者への 処理委託量	4, 400 t	0 t	220 t	80 t	1,000 t	0 t	0 t	5, 700
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0